

## ひまわりクラブ指定管理者候補者事業計画

指定管理者(候補者)	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	新潟市木戸地域コミュニティ協議会	山の下地区コミュニティ協議会
<b>施設概要</b>	新潟市ひまわりクラブ(木戸・山の下を除く) 78クラブ(101施設) 登録児童数 5,794人(H25.5現在) 指導員数 680人(H25.5現在)	木戸ひまわりクラブ 2施設 登録児童数 67人(H25.5現在) 指導員数 12人(H25.5現在)	山の下ひまわりクラブ 1施設 登録児童数 41人(H25.5現在) 指導員数 7人(H25.5現在)
<b>事業者の概要</b>	代表者: 会長 関 昭一 設立: 昭和31.3.29 職員数: 2,161名 事業内容: 地域・在宅福祉活動の推進, ボランティア活動の振興, 各種福祉事業等 施設管理実績: ひまわりクラブ(H17年4月～), 総合福祉会館, 老人福祉センター, 障がい者デイサポートセンター等 担当課: 地域福祉課 こども支援係	代表者: 理事長 伊藤 昭 設立: 平成18.5.27 役員: 26名 事業内容: 地域における防災・防犯, 地域交流, 健康福祉活動等 施設管理実績: 木戸公民館(H21年4月～) 運営組織: コミ協内の学校部会にひまわりクラブ運営委員会を新たに設置し事業を行う。	代表者: 会長 滝澤 宇平 設立: 平成18.1.25 役員: 8名 事業内容: 地域における防災・防犯, 地域交流, 健康福祉活動等 施設管理実績: 山の下まちづくりセンター(H24年4月～) 運営組織: コミ協内にひまわり部会を新設, 既存のこども未来部会と連携で事業を行う。
<b>1. 基本方針</b>	○基本理念 家庭機能を補完した「生活」の場を提供し、遊び及び生活を通して健全育成を図る。 ○基本方針 ①子どもの健康管理、安全管理、情緒の安定を図る②遊びの活動への意欲と態度の形成を図る③遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上を図る④保護者の子育ての支援を図る。	○基本理念 児童の安全確保。生活の場と遊びをとおした健全育成を図る。 ○基本方針 児童の健康と安全管理及び情緒の安定。遊びの活動と学習への意欲形成。 自主性、社会性と創造性向上。保護者への子育て支援。	○基本理念 児童の安全確保。生活の場と遊びをとおした健全育成を図る。 ○基本方針 児童の健康と安全管理及び情緒の安定。遊びの活動と学習への意欲形成。 自主性、社会性と創造性向上。保護者への子育て支援。
<b>2. 運営組織</b>	○職員配置 各施設2名の正規指導員を配置、児童数や障がい児等の状況に応じて加配指導員を配置し、安心安全運営を行う。 ○人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容 経験と実績及び情熱を有する導員を確保し、充実した研修を実施し、質の高い人材を育成する。研修内容として、児童の安全管理、生活指導、遊びの研修等について、様々な形態の研修会を計画的に実施していく。	○職員配置 各施設2名の正規指導員を配置、児童数や障がい児等の状況に応じて加配指導員を配置し、安心安全運営を行う。 ○人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容 地元地域の人材活用を基本に、知識と理解及び情熱を有する質の高い職員を採用し、市社協や県主催の研修参加を支援し、また内部会議を随時開催し、質の担保とボランティア等の育成を同時に図っていく。	○職員配置 各施設2名の正規指導員を配置、児童数や障がい児等の状況に応じて加配指導員を配置し、安心安全運営を行う。 ○人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容 地元地域の人材活用を基本に、知識と理解及び情熱を有する質の高い職員を採用し、市社協や県主催の研修参加を支援し、また内部会議を随時開催し、質の担保とボランティア等の育成を同時に図っていく。
<b>3. 運営についての提案</b>	○子どもの発達段階に応じた健全育成 子どもの発達過程を理解し、子どもの思いや願い等を共感的に理解する健全育成を行う。 高学年についても、モデル事業の検証を踏まえた発達段階に応じた適切な健全育成を行う。 ○利用促進への考え方及び内容 フェイスブックページやホームページを通じ、情報を積極的に発信することで、利用促進の充実を図る。 ○要望・苦情に対する対応及び方法 要望・苦情は、積極的に意見を聞き、事業に具体的に反映していく。また、利用者からの苦情などに適切に対応するための体制を整備し、ホームページ上でも苦情受付窓口を案内している。(第三者委員: 新潟医療福祉大学教授・身体障がい者授産施設所長)	○子どもの発達段階に応じた健全育成 児童の尊厳を守り傾聴の姿勢を基本に、個別的且つ適正な育成を図る。学校や地域と連携した活動を積極的に取り入れる。 ○利用促進への考え方及び内容 広報の発信と地域行事等への積極的参加で促進と育成環境を確保する。 地域内の保育園のノウハウを受け入れて、より良いコミュニケーションの構築に努める。 ○要望・苦情に対する対応及び方法 保護者や地域の要望、苦情は積極的に意見を拝聴したうえで、その後の事業に取り入れていき、受付窓口から解決までの体制整備を常に図る事で迅速化していく。 第三者委員を設置。(新潟県立大学教授・NPO法人まちづくり学校講師)	○子どもの発達段階に応じた健全育成 児童の尊厳を守り傾聴の姿勢を基本に、個別的且つ適正な育成を図る。学校や地域と連携した活動を積極的に取り入れる。 ○利用促進への考え方及び内容 広報の発信と地域行事等への積極的参加で促進と育成環境を確保する。 ○要望・苦情に対する対応及び方法 保護者や地域の要望、苦情は積極的に意見を拝聴したうえで、その後の事業に取り入れていき、受付窓口から解決までの体制整備を常に図る事で迅速化していく。 第三者委員を設置。(新潟県立大学教授・NPO法人まちづくり学校講師)
<b>4. 危機・維持管理</b>	○事故防止、防災に対する考え方と対処方法 危機管理マニュアルを作成し、全クラブへの周知を図り、日常的な危機予防の共通理解と徹底や安全点検等を実施。 ○事故、不審者、火災、自然災害時の対応 登所や帰宅通路や施設内外の環境の安全に目を配り、必要な措置等を行う。避難訓練(年2回)や日頃の活動を通じ周知徹底を図る。 ○個人情報保護の方針及び内容 市社協「個人情報保護に関する方針」に基づき、「個人情報保護規程」を、職員に周知徹底。 ○施設管理に関する考え方及び内容 安全・衛生面に配慮し、子どもが安定して日々の生活できるように施設管理を行う。 ○ごみ減量やエネルギー削減等環境への配慮 新潟市環境行動プランに基づき、事業者としての役割を認識し、環境保全の取り組む。	○事故防止、防災に対する考え方と対処方法 不慮の事故、発災等を常に意識し防止と共に安全確保に万全を期す。 ※社協と同等の危機管理マニュアルを作成。 ○事故、不審者、火災、自然災害時の対応 発生時に適切且つ迅速な行動及び連絡体制を確保し安全確保を行う。年2回の避難訓練に加え、地域の自主防災訓練に参加する。 ○個人情報保護の方針及び内容 個人の人格尊重を理念に法令を遵守し、慎重且つ適切に取り扱う。 ○施設管理に関する考え方及び内容 安全・衛生面に配慮し随時点検等を行う事で児童の安定した生活の場を確保。 ○ごみ減量やエネルギー削減等環境への配慮 地域資源の一つとして役割を認識し環境保全に取り組んでいく。	○事故防止、防災に対する考え方と対処方法 不慮の事故、発災等を常に意識し防止と共に安全確保に万全を期す。 ※社協と同等の危機管理マニュアルを作成。 ○事故、不審者、火災、自然災害時の対応 発生時に適切且つ迅速な行動及び連絡体制を確保し安全確保を行う。年2回の避難訓練に加え、地域の自主防災訓練に参加する。 ○個人情報保護の方針及び内容 個人の人格尊重を理念に法令を遵守し、慎重且つ適切に取り扱う。 ○施設管理に関する考え方及び内容 安全・衛生面に配慮し随時点検等を行う事で児童の安定した生活の場を確保。 ○ごみ減量やエネルギー削減等環境への配慮 地域資源の一つとして役割を認識し環境保全に取り組んでいく。
<b>5. 支出計画</b>	○支出計画 事務局人件費 80,813千円 指導員人件費 1,080,162千円 施設運営費等 129,394千円 計 1,290,369千円 ○経費削減のための工夫 ・人件費の削減(超過勤務の縮減) ・光熱水費の削減(冷暖房設定温度への配慮、節水) ・消耗品費・修繕費の削減(不用品の再利用、軽微な修繕には職員が対応)	○支出計画 事務局人件費 1,693千円 指導員人件費 15,862千円 施設運営費等 863千円 計 18,418千円 ○経費削減のための工夫 ・人件費の削減(超過勤務の縮減) ・光熱水費の削減(冷暖房設定温度への配慮、節水) ・消耗品費・修繕費の削減(不用品の再利用、軽微な修繕には職員が対応)	○支出計画 事務局人件費 1,693千円 指導員人件費 9,287千円 施設運営費等 505千円 計 11,485千円 ○経費削減のための工夫 ・人件費の削減(超過勤務の縮減) ・光熱水費の削減(冷暖房設定温度への配慮、節水) ・消耗品費・修繕費の削減(不用品の再利用、軽微な修繕には職員が対応)